



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月25日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4552 URL http://www.jcrpharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 葉口 明宏 TEL 0797(32)8591  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,248	16.4	3,302	77.7	3,344	72.4	2,483	75.3
29年3月期第3四半期	13,100	0.3	1,858	△3.6	1,939	△8.6	1,416	△7.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,607百万円 (86.5%) 29年3月期第3四半期 1,398百万円 (△9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	79.58	79.08
29年3月期第3四半期	44.80	44.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	39,561	26,930	67.2
29年3月期	36,385	27,585	75.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 26,584百万円 29年3月期 27,305百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,700	14.5	4,100	73.6	4,150	63.8	3,070	64.8	98.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	32,421,577株	29年3月期	32,421,577株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,671,130株	29年3月期	842,362株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	31,210,967株	29年3月期3Q	31,614,646株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の概況は次のとおりであります。

主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」は、昨年1月に発売した液状製剤「グロウジェクト®皮下注6mg・12mg」とその専用注入器「グロウジェクター®L」の寄与もあり、引き続き売上を伸ばさせました。遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤（腎性貧血治療薬）「エポエチンアルファBS注JCR」および再生医療等製品「テムセル®HS注」も順調に推移し、主力3製品のいずれも前年同期比で増収となりました。

研究開発面におきましては、昨年9月にファブリー病治療酵素製剤（アガルシダーゼベータ）のバイオ後続品（開発番号：JR-051）の製造販売承認申請を行うとともに、持続型赤血球造血刺激因子製剤（ダルベポエチンアルファ）のバイオ後続品（開発番号：JR-131）の第Ⅲ相臨床試験および独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-141）の第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験を計画どおり順調に進捗させ、臨床開発段階においていずれも良好な結果が得られております。前臨床開発段階にある開発候補品につきましても、持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）、J-Brain Cargo®適応ポンペ病治療酵素製剤（開発番号：JR-162）およびハーラー症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-171）などの研究開発が順調に進展しております。また、細胞・再生医療分野においては、昨年7月に帝人株式会社と他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161）の共同開発契約および実施許諾契約を締結し、共同で開発を推進しております。

また、JR-141およびJR-162について早期に米国での臨床開発を統括管理する目的で、本年1月1日付で株式会社メディパルホールディングスと米国合弁会社JCR USA, Inc. を設立いたしました。今後、米国合弁会社を拠点として、当社の開発している品目のグローバル展開を検討していく予定です。

売上面におきましては、「グロウジェクト®」、「エポエチンアルファBS注JCR」および「テムセル®HS注」の売上高はそれぞれ、87億75百万円（前年同期比9億17百万円増）、31億73百万円（前年同期比3億34百万円増）および11億13百万円（前年同期比6億17百万円増）となり、また、契約金収入16億25百万円（前年同期比8億15百万円増）が計上されたことにより、医薬品事業の売上高は149億15百万円（前年同期比21億25百万円増）となりました。医療用・研究用機器事業の売上高3億33百万円（前年同期比22百万円増）を合わせた当社グループ全体の売上高は152億48百万円（前年同期比21億47百万円増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増収に伴い売上総利益が109億93百万円（前年同期比20億26百万円増）となり、研究開発費28億27百万円（前年同期比43百万円増）を含む販売費及び一般管理費の増加を吸収して、営業利益は33億2百万円（前年同期比14億44百万円増）、経常利益は33億44百万円（前年同期比14億4百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億83百万円（前年同期比10億67百万円増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は395億61百万円（前連結会計年度末比31億76百万円増）、負債合計は126億31百万円（前連結会計年度末比38億32百万円増）、純資産合計は269億30百万円（前連結会計年度末比6億55百万円減）となりました。

流動資産は、たな卸資産および売掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ31億75百万円増加して234億91百万円となりました。固定資産につきましても、有形固定資産が減少した一方で、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1百万円増加して160億70百万円となりました。

流動負債は、短期借入金および未払法人税等が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ41億33百万円増加して88億40百万円となりました。固定負債は、長期借入金および長期リース債務が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億1百万円減少して37億90百万円となりました。

純資産につきましても、四半期純利益を計上した一方で自己株式の取得および配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べ6億55百万円減少して269億30百万円となりました。

これらの結果、第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ7.8ポイント低下して67.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績は、「グロウジェクト®」などの販売が予想を上回ったことなどにより、当初予想に比べて増収増益となりました。第4四半期におきましても、売上高の好調な推移が見込まれるため、平成29年10月26日に公表いたしました通期の業績予想を次のとおり修正しております。

平成30年3月期通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,400	百万円 3,500	百万円 3,530	百万円 2,650	円 銭 85.24
今回修正予想(B)	20,700	4,100	4,150	3,070	98.73
増減額(B-A)	300	600	620	420	—
増減率(%)	1.5	17.1	17.6	15.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	18,085	2,362	2,534	1,863	58.95

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,509	5,030
受取手形及び売掛金	5,434	6,415
有価証券	300	1,135
商品及び製品	1,757	2,292
仕掛品	1,591	1,500
原材料及び貯蔵品	4,389	5,934
その他	1,332	1,181
流動資産合計	20,315	23,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,938	4,827
土地	3,882	3,882
建設仮勘定	31	72
その他（純額）	2,536	2,349
有形固定資産合計	11,387	11,131
無形固定資産	67	120
投資その他の資産		
投資有価証券	3,587	3,927
その他	1,049	915
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	4,614	4,819
固定資産合計	16,069	16,070
資産合計	36,385	39,561
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	700	320
短期借入金	1,493	5,101
未払法人税等	69	703
賞与引当金	525	282
役員賞与引当金	73	55
その他	1,844	2,377
流動負債合計	4,706	8,840
固定負債		
長期借入金	2,713	2,500
債務保証損失引当金	337	322
退職給付に係る負債	582	616
その他	458	350
固定負債合計	4,092	3,790
負債合計	8,799	12,631

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,964	10,954
利益剰余金	8,149	9,883
自己株式	△1,486	△4,055
株主資本合計	26,689	25,844
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	569	652
為替換算調整勘定	149	158
退職給付に係る調整累計額	△103	△70
その他の包括利益累計額合計	616	740
新株予約権	279	345
非支配株主持分	0	0
純資産合計	27,585	26,930
負債純資産合計	36,385	39,561

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	13,100	15,248
売上原価	4,134	4,255
売上総利益	8,966	10,993
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	7,108	7,690
営業利益	1,858	3,302
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	20	25
為替差益	53	8
補助金収入	29	—
その他	18	21
営業外収益合計	135	70
営業外費用		
支払利息	22	20
その他	32	8
営業外費用合計	54	29
経常利益	1,939	3,344
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	13	14
その他	—	0
特別利益合計	13	15
特別損失		
固定資産処分損	2	20
特別損失合計	2	20
税金等調整前四半期純利益	1,950	3,339
法人税、住民税及び事業税	383	813
法人税等調整額	150	42
法人税等合計	533	856
四半期純利益	1,416	2,483
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,416	2,483



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,416	2,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	82
為替換算調整勘定	△115	8
退職給付に係る調整額	38	32
その他の包括利益合計	△18	123
四半期包括利益	1,398	2,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,398	2,607
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、平成29年9月21日開催の臨時取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、下記のとおり買付けを行いました。

① 自己株式の取得を行った理由

グラクソ・スミスクライングループとの包括契約改訂による同グループの保有株式の処分に備え、また、当社株主への利益還元を行うことを目的とするものであります。

② 取得の内容

- |             |                                     |
|-------------|-------------------------------------|
| ・取得した株式の種類  | 当社普通株式                              |
| ・取得した株式の総数  | 854,100株                            |
| ・株式の取得価額の総額 | 2,622百万円                            |
| ・株式の取得日     | 平成29年9月22日                          |
| ・取得方法       | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付 |